

常陸大宮市交流のGatewayプロジェクト
～シティプロモーションの提案～



常陸大宮市が日本を救う！
「カコい場プロジェクト」
企画案

2022/02/17

文化デザイナー学院

広告プロモーションデザイン学科

セールスプロモーションゼミ 3年

大関由莉伽 大泉衿子 山田未来



常陸大宮市の課題

人口減少

担い手不足

高齢化社会

- ・特に20歳～34歳の女性のライフイベントに伴う転出

常陸大宮市 人口ビジョン・第2期創生総合戦略より



状況の整理

- ① 出生数が減少傾向
- ② 転出者が転入者を上回る状況継続
- ③ とりわけ女性は毎年一貫して100人以上の転出超過
- ④ 15歳～39歳という最も残留して欲しい年代の転出が多い
- ⑤ 20歳～34歳の女性転出が多く、この年代の定住率向上がポイント

日本の課題

少子高齢化

ひとり親の相
対的貧困率

教育格差

人口減少

女性が活躍
しにくい社会

若い女性東京へ

「地方創生」旗振れど、若い女性は東京へ 「やりたい仕事見つからず」 研究機関調査

2021/11/3 5:00 有料会員記事



地方で人口の減少が続いている。政府や自治体が「地方創生」の旗を振ってみても、若い女性らが地元を離れて東京圏に向かう流れに歯止めはかからない。なぜなのか。（篠健一郎、土屋亮）

「会社の受付に男性が座っていると違和感を感じる」「体力的にハードな仕事を女性に頼むのは気が引ける」

先月初め、東北地方の企業の管理職ら約20人が、こんなチェックリストと向き合っていた。

地元のシンクタンク、東北活性化研究センターと21世紀職業財団が、アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）をテーマにした勉強会をオンラインで開いた。参加者たちは、自社が性別や年齢などの固定観念で働きにくい職場になっていないか、話し合った。

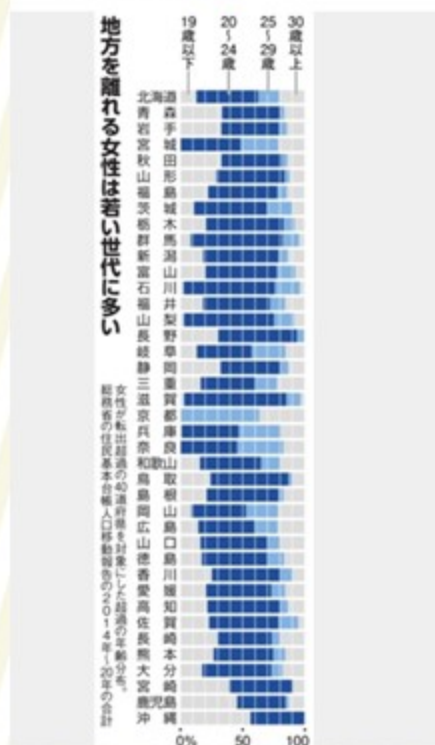
東京圏（1都3県）に向かって東北などの他の地域から転出した、いったん転出した後に地元に戻ったりした全国の18～29歳の女性約2300人を対象に研究センターは昨年、調査を実施した。その結果、地元を離れる理由で最も多かったのは「やりたい仕事や、やりがいのある仕事が見つからない」。全体の6割近くを占めた。

2014年、当時の安倍政権は地方活性化を重要な課題と位置づけ、「地方創生相」を新たに設けた。菅政権と岸田政権は、これを引き継いだ。現在の地方創生相である野田聖子氏は、初代の石破茂氏から数えて7人目だ。政府は、地方創生を目的とした交付金を新設したほか、地方大学の振興策や、先端技術を生かす「スーパージェネレーション」などの施策をとってきた。地方自治体も移住の促進策や子育て支援策に取り組んできた。

しかし、地元を離れて東京圏などへ向かう人の流れは止まらない。総務省の住民基本台帳の人口移動報告によると、14～20年の合計で県外への転出者が転入者を上回った道府県は40に上る。

とりわけ流出が目立つのは女性だ。転出者から転入者を引いた「転出超過」を男女別にみると、女性の超過が男性を上回る道県は36あった。年齢別で見ると地元を離れるタイミングは20代前半が目立つ。人口動態に詳しいニッセイ基礎研究所の天野善南子さんは、20代前半の移動は就職に伴うものが多い

研究機関調査



「地方創生」旗振れど、若い女性は東京へ 「やりたい仕事見つからず」 研究機関調査



地方からの転出超過は女性に目立つ

やりたい仕事や、やりがいのある仕事が
地方では見つからない。が全体の6割を
占めている。

朝日新聞より

これらを一気に解決する！

カコい場プロジェクト

女性が活躍できる
地域社会の構築

関係人口の
創出・拡大と活用

新しい時代に向け
た取り組みへの
チャレンジ



常陸大宮市 人口ビジョン・第2期創生総合戦略より

「新たな視点を取り入れた地域創生」のカタチ

新たな視点を取り入れた地域創生の推進

第2期総合戦略では、「まち・ひと・しごと」を基軸とした4つの基本方針や各施策の相乗効果を発揮させるため、横断的な取組として、新たな3つの視点を取り入れて、地域創生を推進します。



視点 1

女性が活躍できる地域社会の構築

～しなやかな感性をいかしてまちの活性化を目指す～

取組の方向性

- 女性ならではの感性をいかし、新たな発想でまちを元気にするため、各種施策における女性活躍の場づくりの推進と新たな担い手の発掘・育成
- 子育てと仕事の両立など、自分らしく生きるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた、女性が輝く環境づくりの推進



視点 1

関係人口*の創出・拡大と活用

～常陸大宮に関わる人々の力を地域の力にしていくことを目指す～

取組の方向性

- 本市の特色ある文化、伝統、産業、観光などあらゆる地域資源を掘り起こし、磨き上げながら、多様な人々との関わり、つながりがもてる機会の創出
- 新たな関係人口の発掘・確保に向けた取組の推進と関係人口に関連する情報の共有を図りながら、施策のさらなる横展開の強化



視点 1

新しい時代に向けた取組へのチャレンジ

～新しい時代の流れを力にして地域活力の創造を目指す～

取組の方向性

- 茨城国体や東京オリンピック・パラリンピック競技大会の「レガシー」を、スポーツ・健康まちづくりにつなげるため、スポーツを通じた健康増進、多面的な交流による地域の活性化の推進
- Society5.0*の実現に向けた未来技術の活用を地域創生に取り入れるとともに、地域課題の解決に向けて SDGsの理念を踏まえた地域創生、持続可能なまちづくりの推進

関係人口とは

「定住人口」「交流人口」とは異なる、地域や地域の人々と多様に関わる人口

Society5.0とは

インターネットなど仮想のサイバー空間(仮想空間)と、私たちが暮らす現実のフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)



ターゲット

「全国のひとり親の女性」
とその子ども

ひとり親の女性が抱える問題

- ・日本の母子世帯数→約123万2000世帯

子どもがいる世帯の
平均年間年収

707.8万円

パート・アルバイトで働く
母の平均年間年収

133万

母子世帯の母の就業率→81.1%
そのうちの約半部分がパート・アルバイトで働く

能力があるにもかかわらずフルタイムで働けない状況

ひとり親の女性が抱える問題(資料1)

日本の母子世帯数

日本の母子世帯数は推計によると約123万2000世帯です。これは、子どもが20歳まで、同居親族のいる方も含めた数です。(父子世帯数は18万7000世帯。)

この数は30年前と比べると、1.5倍に増加していますがこの5年間は横ばいです。同居親族がいる割合は母子世帯の母は38.7%です。



約**123万2000世帯**

出典：全国ひとり親世帯等調査

・パートやアルバイトで働く
ひとり親の収入は低い

子どものいる世帯の
平均年間収入

707.8万円

母子世帯は約半分

母子世帯の世帯全体の収入 ※F-9は2017年のもの

200万円

平均年間就労収入

+ 43万円

児童扶養手当、
教育費、年金等の給付

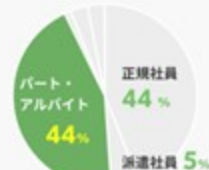
+ 親族の
収入

348万円

母子世帯の世帯全体の収入

DATA

母子世帯の母の就労形態



パート・アルバイトで働く母の平均年間就労収入は133万円です。

子どもがいるために長時間働けない、仕事と子育てを両立することができず、非正規で働いている人も多いため、仕事と子育ての両立を応援することも大切です。またスキルをつける支援も必要です。

> 取り組み：キャリア支援プログラム

母子世帯の母の
就業状況別の年間就労収入

パート・アルバイトなど

133万円

正規

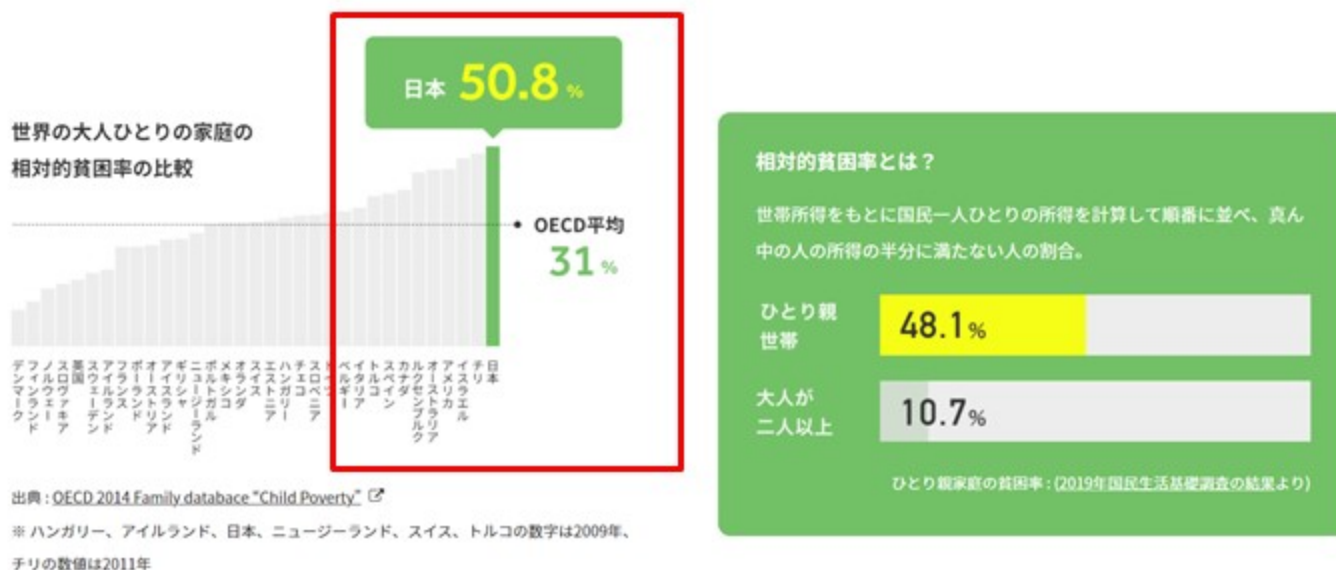
305万円

「しんぐるまざーず・ふぁーむ」引用

ひとり親の女性が抱える問題(資料2)

ひとり親家庭の現状

日本のひとり親家庭の相対的貧困率は先進国で最悪のレベルです。



・相対的貧困率が高い

「しんぐるまざーず・ふぁーむ」引用

常陸大宮市がそれを変える！

市内全体で子どもを守り、ひとり親の女性が
安心して働ける環境をつくる



かこい場

KAKOIBA

カッコい場とは

「カッコい場！屋根に包まれた空間」

- ・大きな屋根のように子どもたち、市民を優しく包み込み、
安心できる場所でありたい
- ・この施設を利用する、この施設の運営にかかわることがカッコいい、カッコいい場

支えるのは、市民(地域全体)

カコい場でできること



市外へ安心して働きに行くことができる

小学生から高校生までのお子さんを預けることができます。



地元の食材で地元愛を育む

地元の農家さんから支援を頂き、地元の食材を使用した料理を作ったり、食べたり、農家さんに話を聞いたりできます。



勉強ができる

学習スペースを設けることで年上の子が年下の子に、また地域の大人が子どもの勉強を見てあげることができます。

カコい場 会員証



市内の学校から常陸大宮駅までは少し距離があり、
会員証を見せることで学生は無料でバスを利用でき、
親は駅の駐車場を無料で利用できる。

なぜ常陸大宮市なの？

第一次産業
第二次産業
第三次産業

働ける場所

交通



働く場所への
アクセス

+

支援

- ・子育て支援
- ・移住支援など

暮らしやすさ

常陸大宮市「へたれ侍」など、
地域を盛り上げ支える人たちが多く存在

第一次産業



第二次産業



第三次産業



俺たち
へたれ侍

俺たち へたれ侍
@hetaresamurai · コミュニティ

メッセージを送信
お問い合わせ内容をお聞かせください。

ホーム 基本データ 動画 写真 その他

いいね!

情報 すべて見る

- 平成28年度茨城県商店街活性化コンペ優秀賞。
NPO法人あきない組、茨城大宮市のデザイナー・フォトグラファーが仕掛ける商店街活性化事業です。
- 142人が「いいね！」しました
- 145人がフォロー中です
- メッセージを送信
- コミュニティ

投稿の作成

- 写真・動画
- チェックイン
- 友達をタグ付け

俺たち へたれ侍
2018年8月4日 · 公開

大層に出会ったでござる。

写真 すべて見る

常陸大宮市の課題も解決！

人口増

ひとり親女性と子どもの移住
人口減→人口増

出会い

多くの女性・若者の増加による
出会い増

担い手

農業・林業など...
一、二産業従事者の拡大

企業新出

女性を起用したい、
女性をターゲットにした企業の進出

話題化

女性の暮らしたい街、
女性が輝く街として
話題に

若い女性が都市を目指してくのは避けられない。
それ以上の流入を
カッコい場プロジェクトで生む。

カコい場プロジェクトは
日本の課題を解決し、
困っているひとり親女性を助け、
常陸大宮市の課題も解決する

Win win winのプロジェクト

そして、

4つの基本方針「仕事の創出・応援」「人の流れづくり」
「結婚・出産・子育て応援」「魅力ある街づくり」につなげるプロジェクトです

SDGsを提唱しています



ひとり親の貧困問題
子どもへの支援
学習環境の改善



排気ガス削減



地元の農家からの支援
フードロス削減



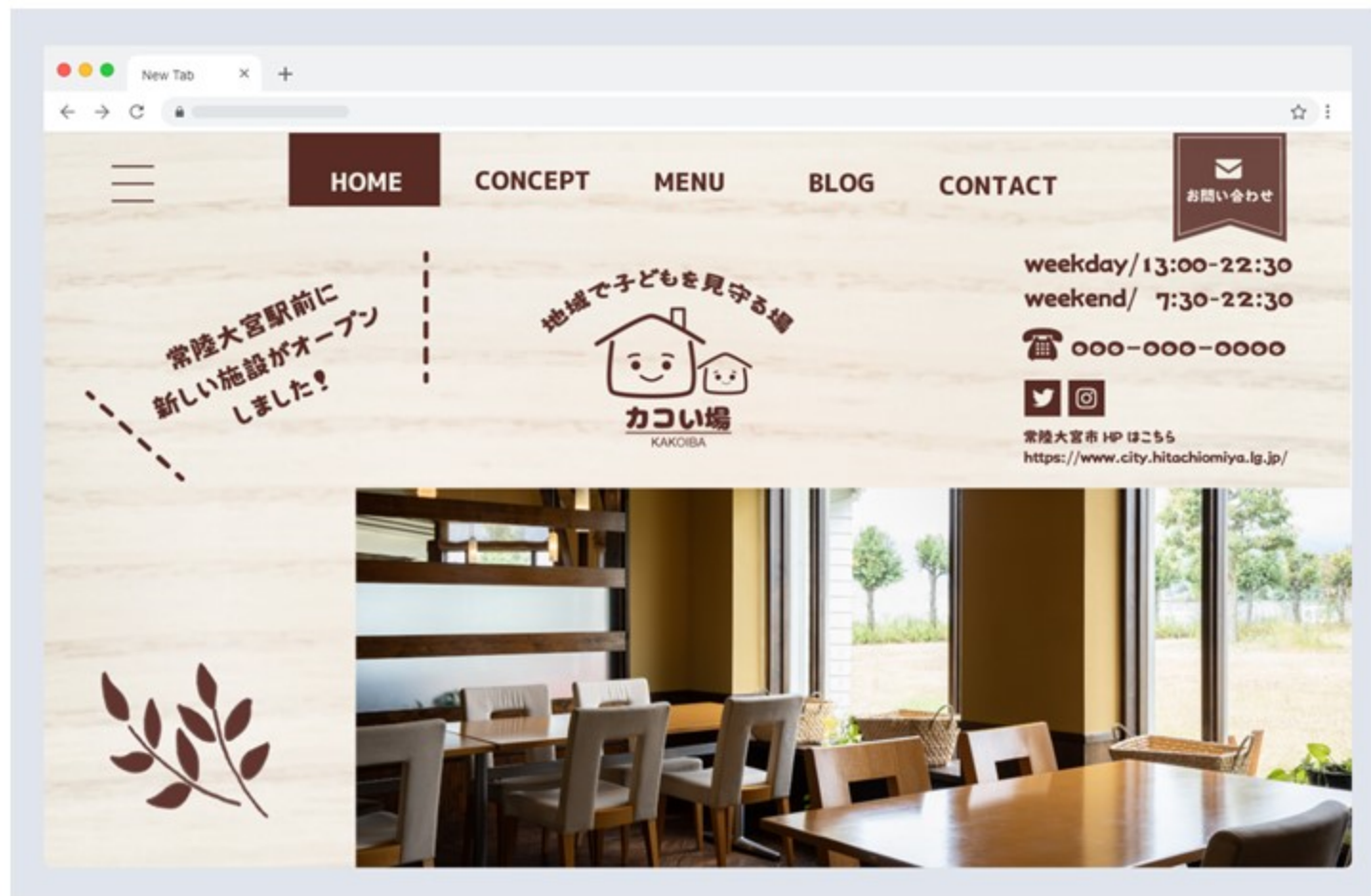
安心して暮らせる街づくり、
高齢者の働きやすい環境作り

このプロジェクトによって
地球が守られ
女性が守られ
明るい未来がくることを
願っています

販促 ～プロジェクトのWEBサイト～



販促 ～カコい場施設のWEBサイト～



販促 ～ポスター～



かこい場とは？

かこい場は、お迎えを待つ小中高生や小さなお子様を持つご家庭が安心していられて、ホッとできる場所です。
子どもを市内全体で守り、育て、ひとり親の女性が安心して働きに行ける街を作りたいという想いからかこい場は誕生しました。
地域全体で子どもを見守る場「かこい場」を是非ご活用ください。

**地域みんなで助け合いながら支え合う場所
みんながハッピーになれる。囲い場。かこい場**



市外へ安心して働きに行ることができます。

常陸大宮市域内で小学生から高校生までのお子さん預けることができます。



地元の食材で地元愛を買みます。

地元の農家さんから支援を頂き、地元の食材を使用した料理を作ったり、食べたり、農家さんに話を聞いたりできます。



勉強ができます。

学習スペースを設けることで、年上の子が年下の子の勉強を見てあげることができます。

「かこい場」
web サイトはこちらから！



地域で子どもを見守る場 かこい場
<http://www.city.futatabi.lg.jp/>

常陸大宮駅で
お待ちしております！

ご清聴ありがとうございました。